

腹壁脂肪吸引(簡便法)

(アミロイドーシスのスクリーニング検査)

検査部位: 腹部(臍周囲)

採取: 18G針、1 ml注射器で皮下脂肪を採取

感度: 家族性アミロイドポリニューロパチーの場合、腹壁脂肪生検の感度は80-90%

簡便性: 上部消化管内視鏡より簡便 外来や病室で施行可能

家族性アミロイドポリニューロパチーの遺伝子陽性者における発症のスクリーニングでは、毎年生検(少なくとも腹壁脂肪・できれば上部消化管内視鏡を)することが必要

腹部皮膚

1. 消毒
2. 麻酔
3. (皮膚を)穿刺(皮膚をつまみ上げて)

4. 吸引(脂肪の中で陰圧をかける)
5. (脂肪を)穿刺(皮下針を2-3回往復)

6. 抜去(陰圧のまま)

7. ホルマリン液へ移す
8. 病理へ提出
パラフィン封埋
薄切
染色(コンゴレッド染色の指示)

